dentsu AEGIS

Aegis Group plcに対する
友好的な買収手続き開始の合意について

A New Global Communication Network Born in the Digital Age

July 12, 2012

電通・Aegisの概要

	dentsu	AEGIS
設立	● 1901	● 1968
本社	● 東京	● ロンドン
事業概要	● アジアのリーディングエージェンシー	● メディア・デジタルエージェンシーグループ
主要ネットワークブランド	dentsu　dentsu network mcgarrybowen　360°　Dentsu media	Carat　iProspect.　isobar Posterscope　Vizeum
拠点	● 29カ国	● 80カ国
クライアント	● 6,000社以上	● 5,000社以上
グループ社員数	● 21,649	● 12,005
財務 (3)	● FY2011 売上総利益: GBP2,662MM (1) (3,328億円) ● 売上総利益CAGR (FY2009-2011): 5.9% ● FY2011 オペレーティングマージン: 15.6%	● FY2011 売上総利益: GBP1,135.0MM (2) (1,418億円) (1) ● 売上総利益CAGR (FY2009-2011): 14.0% ● FY2011 オペレーティングマージン: 17.4% (4)

注記:
(1) 1GBP＝125円
(2) Aegis「売上総利益」は英国の会計基準表示IFRSのRevenueを採用
(3) Aegis財務データはSynovate控除後存続企業ベース
(4) オペレーティングマージンは金利前税前一時項目控除前営業利益 (underling operating profit) に基づく

出所:
電通ファイナンシャルファクトブック2012
Aegisグループアニュアルレポート2011

買収の概要

提案条件	· Aegisの発行済及び発行予定全普通株式を現金にて取得 · Aegis普通株式1株当たり240ペンス(約300円)で合意 – 3ヶ月出来高加重平均終値165.5ペンスに対して、45.0パーセントのプレミアム – Aegisの転換社債、オプション保有者に対しては、今後適切な条件を提示する予定 · 買収総額は約3,164百万ポンド(約3,955 億円)
ストラクチャー	· 英国法に基づくスキーム・オブ・アレンジメントにより実施される予定 – Aegisの取締役会は本件買収につき、全会一致で賛同し、当社は、Aegis現経営陣から、合計4.1%分につき、本件買収への応募等についての合意を取得 – 当社は、Aegis社株式の筆頭株主であるthe Bolloré Groupから、約19.999%分について株式取得、または条件付にて株式の追加取得に関する合意を取得。また、残り6.4%の株式の本件買収への応募等についての合意を取得 – 株式取得及び本件買収への応募等について合意を取得した株式は、Aegis社株式の30.5%に上る – 当社はAegis現経営陣を継続雇用する予定
承認	· Aegisの株主による承認 · 各国の独禁法当局の承認
今後の重要な日程	· スキーム・ドキュメントの開示 – 7月23日 · Aegisの株主総会における承認 – 8月16日 · (競争法当局の承認を前提として)効力発生日 – 2012年10月～12月

注記:
(1) 1GBP＝125円

本件の目的と戦略

A New Global Communication Network Born in the Digital Age

-背景-

新しいメディア環境により、生活者とブランドとの
エンゲージメントが劇的に変化している。

-目的-

電通とAegisはクライアントの変化するニーズに応え、
クライアントの成長に貢献し続ける。

-戦略-

二つのグループが組み合わさることにより、革新的かつ
優位性のある価値を常に提供し、独自のポジションを確立する。

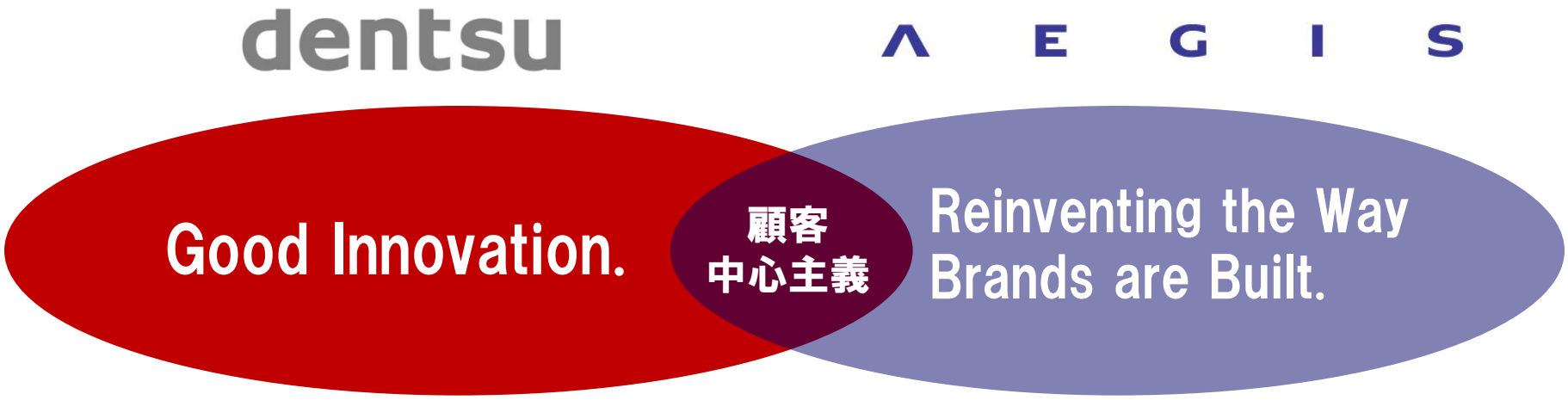
本件の戦略的意義

1. 両社の企業ビジョン、戦略の共有
2. グローバルに事業基盤を拡大
3. クライアントに提供するサービスの拡充
4. 統合的なデジタルソリューションの強化

新たな成長基盤の確立へ

企業ビジョン、戦略、文化の共有

哲学と戦略を共有することでクライアントのベネフィットを最大化する

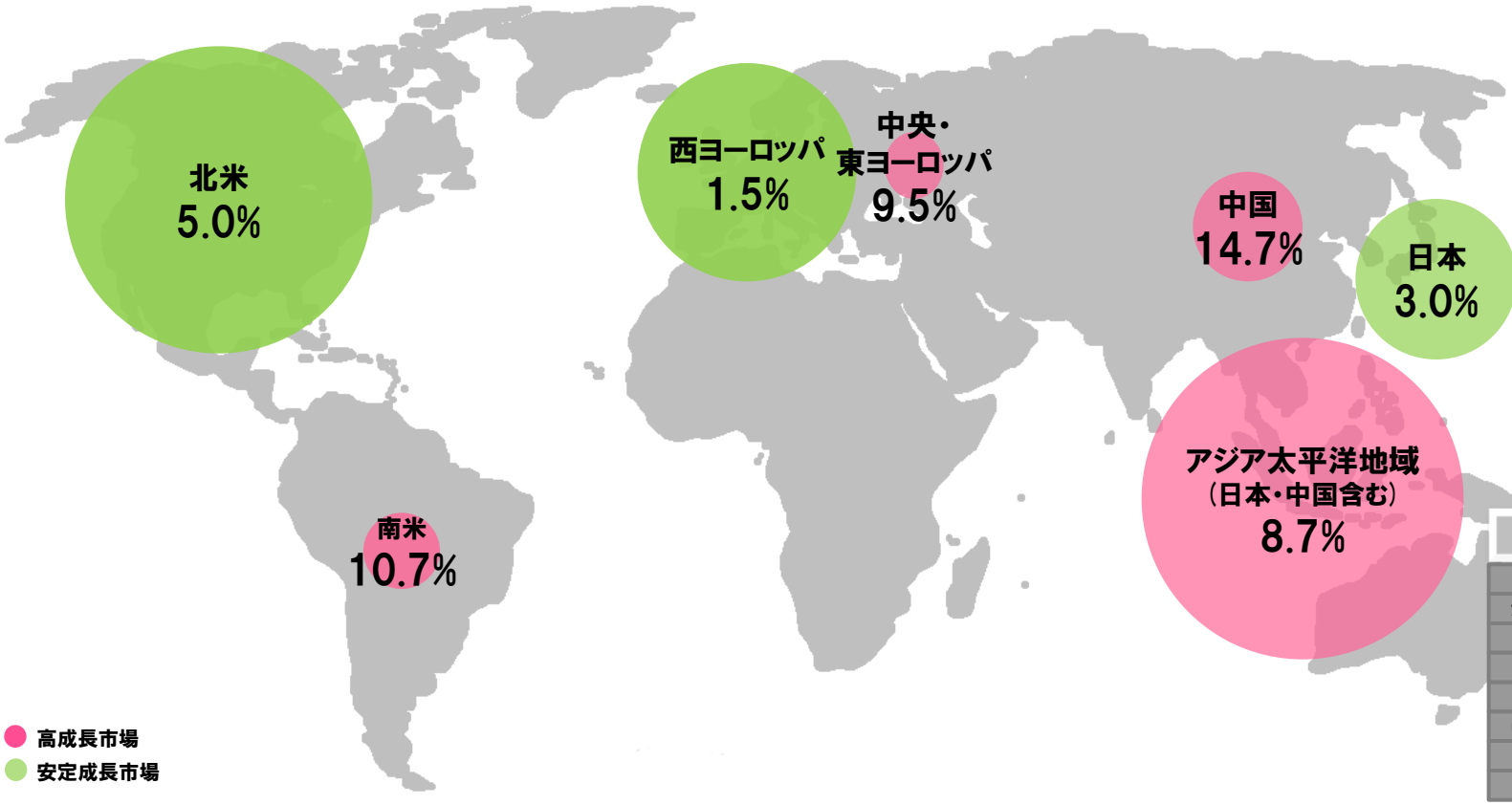


・デジタル領域における統合的サービスの拡充	・デジタルケイパビリティの拡大
・グループの様々なサービス機能を活用し、 統合的なソリューションを提供	・クライアントへ提供するサービスの拡充
・グローバルのデジタルビジネスパートナー等と組むこと などで、新しいビジネスを創出	・グローバルクライアントの扱い獲得を通じた 新規ビジネスの拡充
・南米、中国、アジアにおいて、クライアントの 先進的なニーズに対応するため、ネットワークを拡充	・高成長市場の売上構成比の向上 トップ20マーケット、特に北米と中国においてビジネスを拡大

新興国市場の成長によるビジネスチャンスの拡大

依然として北米及び西欧、日本が巨大市場であるものの、新興国市場が世界の成長（人口増加と経済成長）を牽引

2012年、広告市場の成長予測[(1)] – 世界平均：6.0%



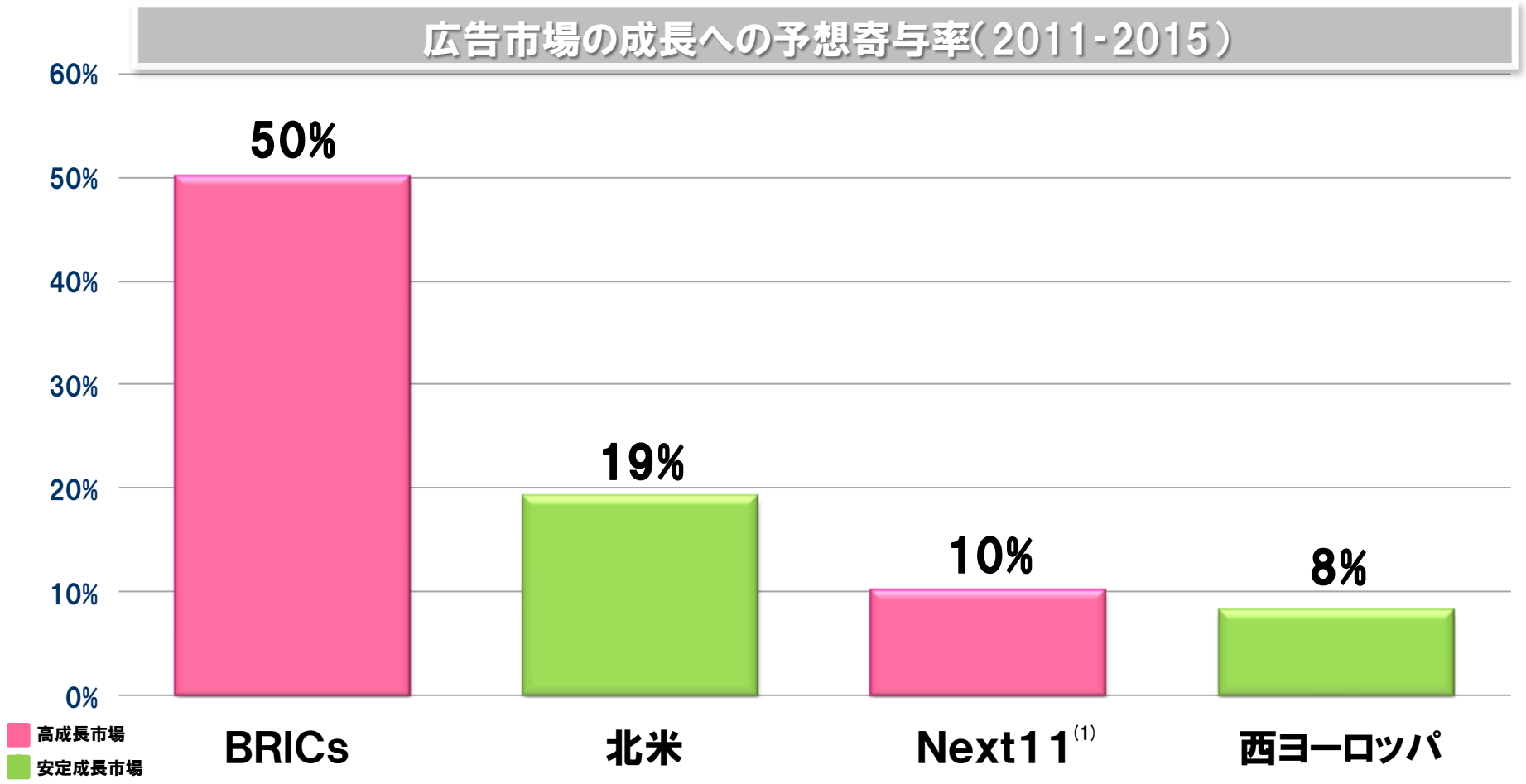
地域別　広告市場規模（2011）

	USD Bn	% Global
アジア太平洋地域	165.5	35.0%
北米	158.0	33.4%
西ヨーロッパ	97.4	20.6%
南米	21.1	4.5%
中央・東ヨーロッパ	17.2	3.7%
その他	13.3	2.8%
全世界 計	472.7	100%

出所: Carat, 2012年3月
注記　(1) 円の大きさは各地域の市場規模の大きさを示している

中期的にも新興国の広告市場が世界成長を牽引

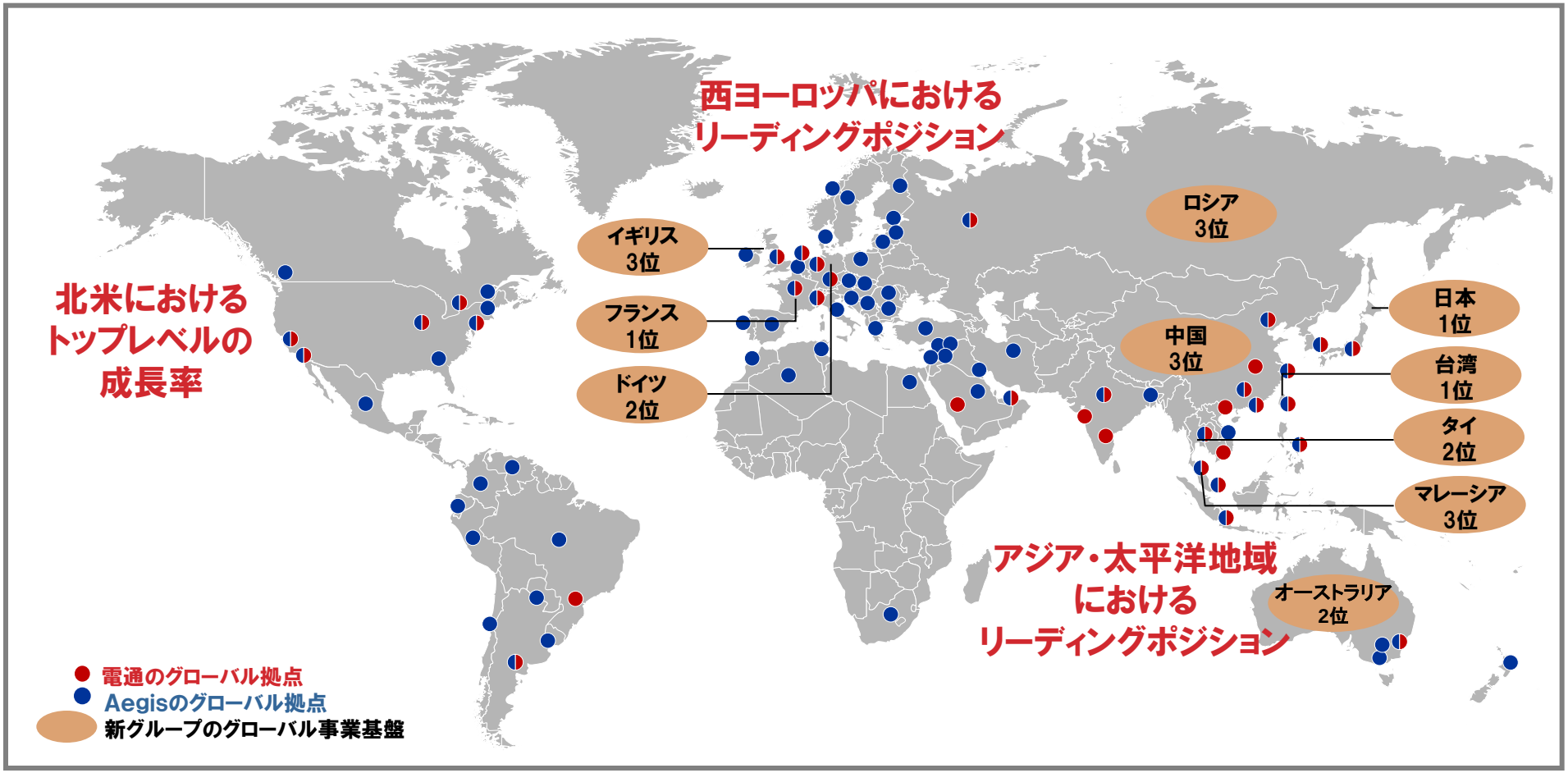
一方、米国及び日本が世界の主要広告市場であるという状況は維持



出所: Aegis Media estimates
注記 (1) Next 11:BRICsに次ぎ、経済成長が期待される国々(バングラディッシュ、エジプト、インドネシア、イラン、メキシコ、ナイジェリア、パキスタン、フィリピン、トルコ、韓国、ベトナム)

グローバルの事業基盤の整備

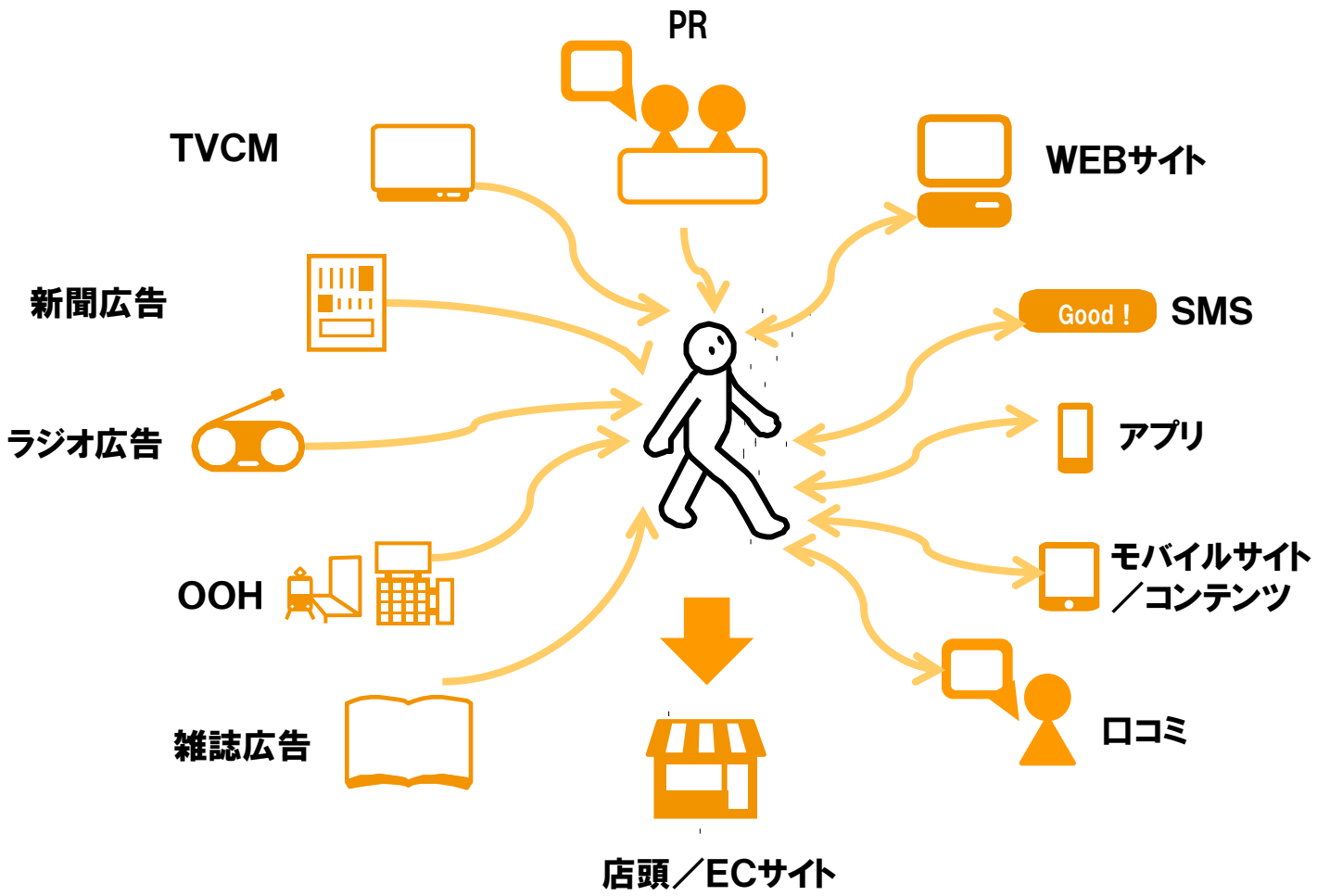
- 新しいグローバルネットワークの事業基盤を構築し、クライアントへのサービス体制を整備



出所:
(1) RECMA（2011年6月時点）
(2) AdAge

メディアのコンバージェンス（融合）の進展

生活者を取り巻くメディア環境、情報の流通がかつてなく複雑化・多様化



クライアントに提供するサービスの拡充

両社のサービスが補完しあうことで、変化するクライアントのニーズに応えていく

電通				Aegis		
グローバル	地域（複数国）	一カ国	Solutions	一カ国	地域（複数国）	グローバル
●	●	●	クリエーティブ			
	●	●	デジタルクリエーティブ	●	●	●
	●	●	メディア	●	●	●
●	●	●	デジタルソリューション・ツール	●	●	●
		●	アウトオブホームメディア	●	●	●
		●	専門ソリューション	●	●	
●	●	●	スポーツマーケティング	●	●	
	●	●	コンテンツ＆エンターテインメント	●		
	●	●	SP／流通ソリューション	●		

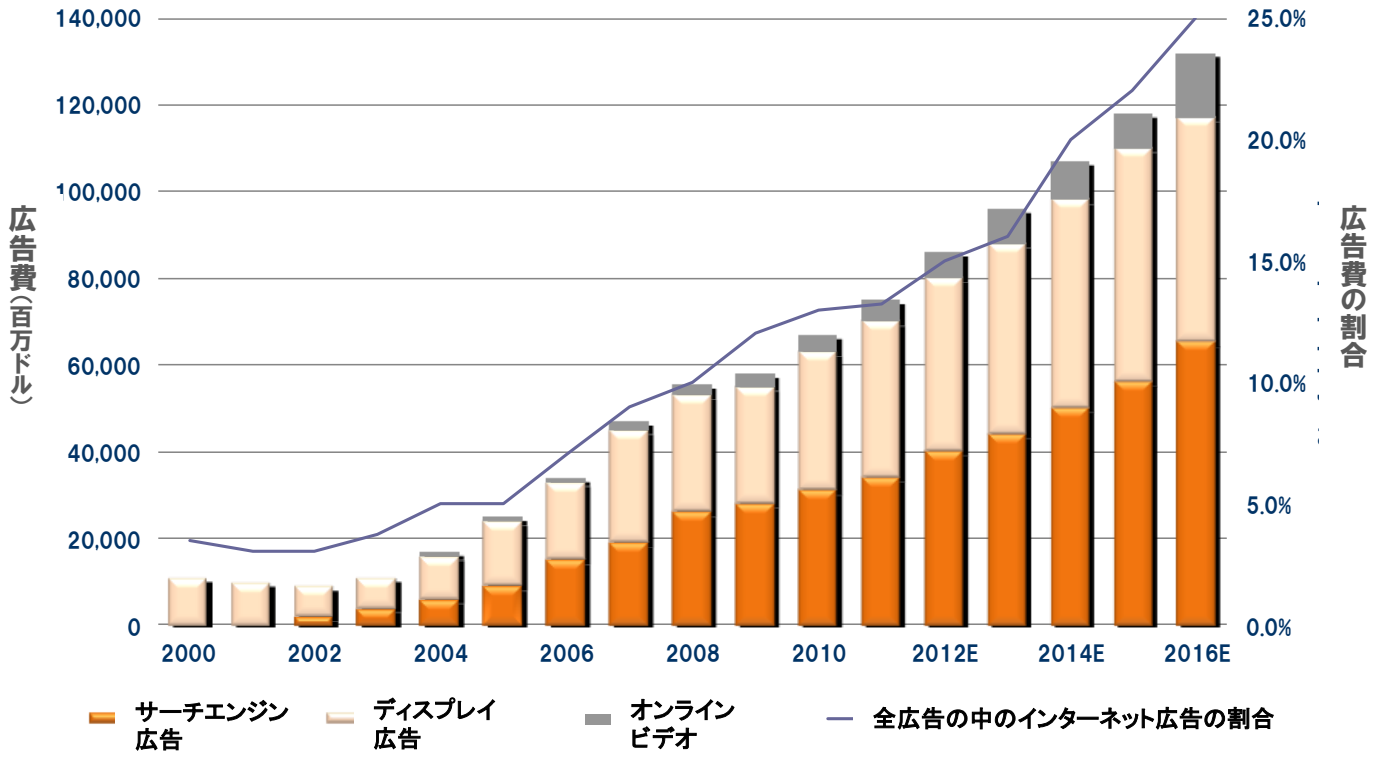
デジタル広告市場の急拡大

デジタル技術の進展と新しいメディアの台頭により、より高度な技術と革新的なソリューションへのニーズが高まることが想定される

媒体別広告市場規模(2011)[1]

USD Bn	2011	CAGR (11－15F)
TV	209.7	6.3%
Print	140.4	(2.1)%
Online Ad	87.4	10.7%
Other	194.1	2.7%
Total	631.6	4.1%

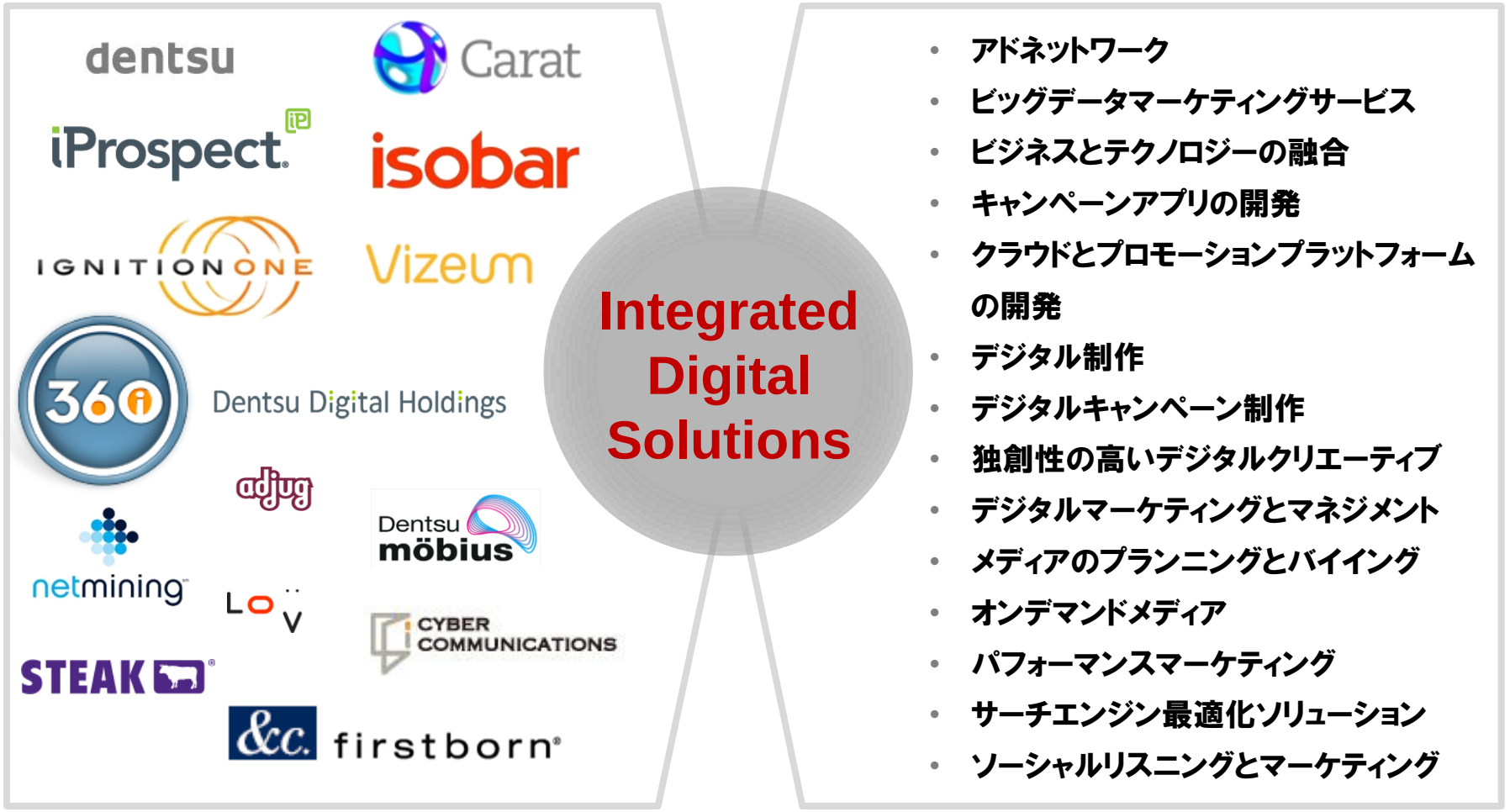
グローバルデジタル広告費[2]



出所:
(1) IDC, 2012年3月
(2) Aegis Media estimates

統合的なデジタルソリューションの強化

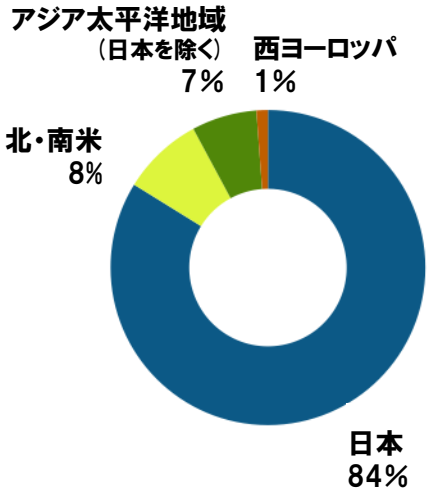
- 変化するメディア環境の中で、革新的な実績を達成
- 新グループはグローバルにデジタルソリューションを提供
- 統合後は6,500人を越えるデジタル領域のエキスパートを擁する



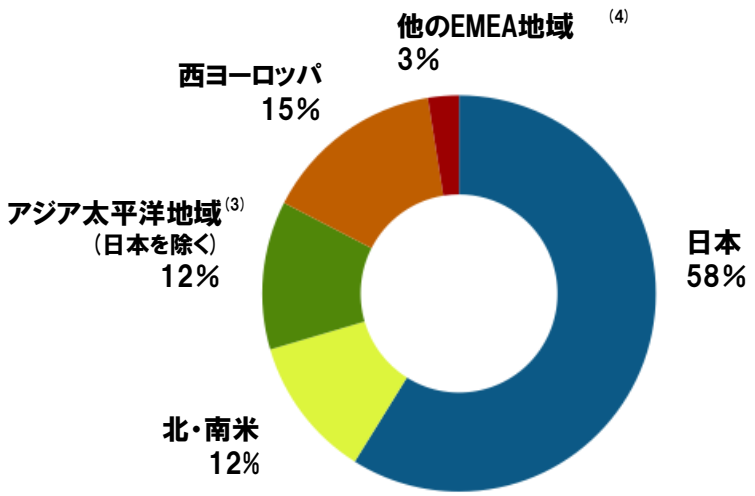
新たな成長基盤の確立

新興市場を含めバランスが取れた地域別ポートフォリオを確立

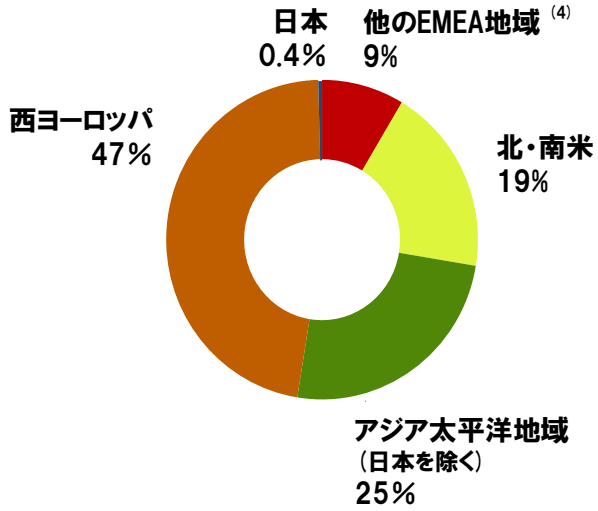
電通 売総構成比(1)



（単純合算の）新グループ 売総構成比



Aegis 売総構成比(2)



注記：
(1) 2012年3月期（出所：社内資料）
(2) Aegis「売総」は英国の会計基準表示IFRSのRevenueを採用（出所：Aegis 2011 Annual Report）、2011年12月期
(3) アジア太平洋地域（日本を除く）の売総はAztecを含む
(4) EMEA: Europe, the Middle East and Africa



A New Global Communication Network Born in the Digital Age

サマリー

1. 両社の企業ビジョン、戦略の共有
2. グローバルに事業基盤を拡大
3. クライアントに提供するサービスの拡充
4. 統合的なデジタルソリューションの強化

新たな成長基盤の確立へ

重要免責条項

- 本発表は、本件買収に関して、いかなる有価証券の売却その他の方法による処分の申込みを含むものでも、あるいはその一部を構成するものでもなく、そのように意図するものでもありません。また本発表は、本件買収に関して、いかなる有価証券の購入、引受、その他の方法による取得の申込みを勧誘するものではありませんし、いずれかの法域による議決権行使もしくは承認を勧誘するものでもありません。Aegis Group plc（以下、「Aegis」）の有価証券について、いかなる法域における適用法令に違反して、売却、発行、または譲渡が行われるものではありません。本件買収は、スキーム・ドキュメントによってのみ行われる予定であり、当該スキーム・ドキュメントにおいて、本件買収に係る一切の条件（スキーム・オブ・アレンジメントに関する議決権の行使方法の詳細を含みます。）が吉舎入れます。スキーム・オブ・アレンジメントに係る議決権の行使その他本件買収について何らかの反応をする場合には、当該スキーム・ドキュメントに記載された情報のみに基づいてなされなければなりません。Aegisの株主においては、本件買収に関して当該文書を受領した際にそれを注意深く読む必要があります。
- 本件買収は、それが違法となるような法域（以下「禁止法域」といいます。）において、あるいは禁止法域に対してもしくは禁止法域から、直接間接を問わず、行われることはありません。また、禁止法域からまたは禁止法域内において、本件買収に対する承諾を行うことも認められません。したがって、本発表及び本件買収に関する一切の文章の写しについて、郵送その他の方法による転送（テレックス、ファックス、電話、インターネットその他の電子通信によるものを含みますが、これらに限定されません。）、領布または送付が、直接的にも間接的にも、禁止法域（当該行為が法令に違反することになる地域）において、同地域に対しては、または同地域から行われることはないですし、また行われてはなりません。また本発表および本件買収に関する一切の文書を受領する者（カストディアン、ノミニーおよび受託者を含みます。）においては、本発表及び本件買収に関する一切の文書について、郵送その他の方法による領布もしくは送付を、そのような行為により本件買収に対する承諾が無効とされる可能性のある地域においては、または同地域に対してもしくは同地域から行ってはなりません。英国の居住者ではないAegisの株主が本件買収におうじることが出来るか否かについては、当該株主が居住するほう域の法律による影響を受ける可能性があります。英国の居住者でない方々につきましては、適用法令を確認し、遵守する必要があります。海外の株主に関する詳細は、本件買収に係るスキーム・ドキュメントに記載される予定です。

将来に関する記述等についての注意事項

- 本発表には、当社およびAegisの将来に関する記述、または将来に関する記述に該当する可能性のある内容が含まれています。歴史的事実についての記述を除き、本発表の内容はすべて将来に関する記述に該当する可能性があります。「目標とする」「計画する」「考える」「予想する」「「目指す」「意図する」「だろう」「かもしれない」「予期する」「見積る」「予測する」その他同様の性質を有する用語やその否定形が前後に続くまたはこれらを含む記述はいずれも、将来に関する記述です。将来に関する記述には、以下に関する記述が含まれます。すなわち買収により見込まれる当社の利益に関する記述、買収提案の背景及および理由、買収により見込まれる当社の売上高および利益に対する影響、当社の今後の見通し、もしくはAegisの将来の資本的支出、費用、売上高、利益、シナジー効果、経済実績および将来の見通しに関する情報です。
- かかる将来に関する記述は、予想される結果に重大な影響を与えうるリスク及び不確実性を伴うもので、一定の重要な仮定に基づいています。将来に関する記述中の予測または予想に比して実際の結果が大きく乖離することとなる要因は多岐にわたります。これらの要因には、Aegisと当社との統合成功に関するリスク、Aegisの統合に関する費用もしくは予想利益の実現に必要なAegisへの投資費用が想定額を上回ること、また買収による利益の実現時期およびその金額に影響を与えうる、当社には知らされていないAegisの事実が含まれます。将来に関する記述について、上記の不確実性およびリスクに照らして、過度に依拠してはならず、本発表日現在の情報にすぎないことにご留意ください。適用法令により義務付けられる場合を除き、当社およびAegisには本発見に含まれる将来に関する記述その他の記述を更新する義務はありません。

電通ハイライト

統合的コミュニケーション領域におけるリーダーシップ



35+

単一ブランドのエージェンシーとして35年以上の長期にわたって世界最大規模

#3

世界の広告賞獲得数： 世界3位（ガンレポート2010）
Adfest: 電通/Agency of the year（2011/2012）
AdAge: mcgarrybowen/ Agency of the year（2009/2011）



6000+

6000社を超えるクライアントと取引。また日本における、広告費上位100社のうち75%以上と取引



#1

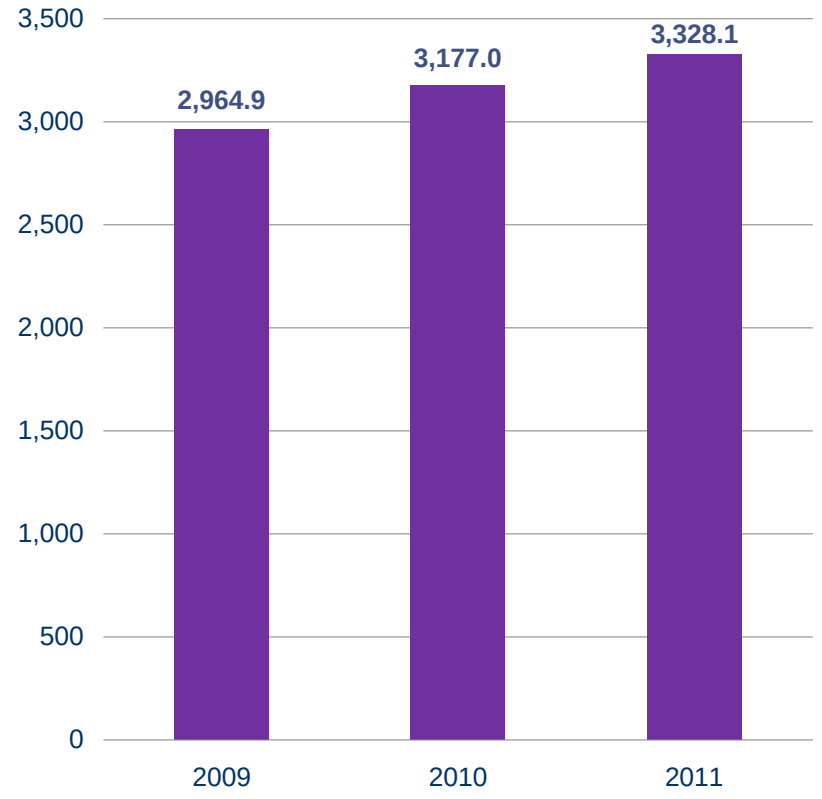
スポーツマーケティングの分野で、エージェンシー系では世界最大であり、40年以上の実績を誇る

出所:社内資料, 日経広告研究所

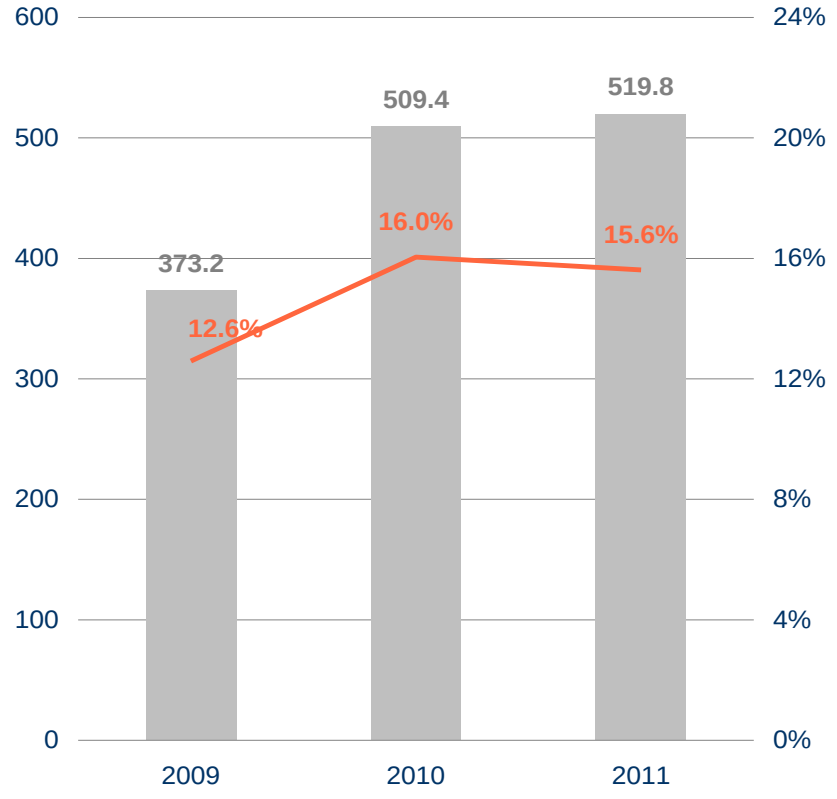
電通の業績推移 (1) (2)

2011年に15.6%のオペレーティング・マージンを達成

<売上総利益>



<営業利益>



注記:
(1) 電通の業績推移は年度表記(3月期末)
(2) 出所:電通フィナンシャル ファクトブック 2012

Aegisハイライト

デジタル分野と高成長市場での着実な成長



#1

独立系メディア・エージェンシーとして世界最大



35%

Aegis メディア売総(1)の35%（2010年は32%）がデジタル(Publicis 31%、WPP 30%)



5000+

5000社を超えるクライアント。世界における広告主上位100社のうち71社と取引。Aegis Mediaの売総(1)のうち、50%は北米と高成長市場で構成



33%

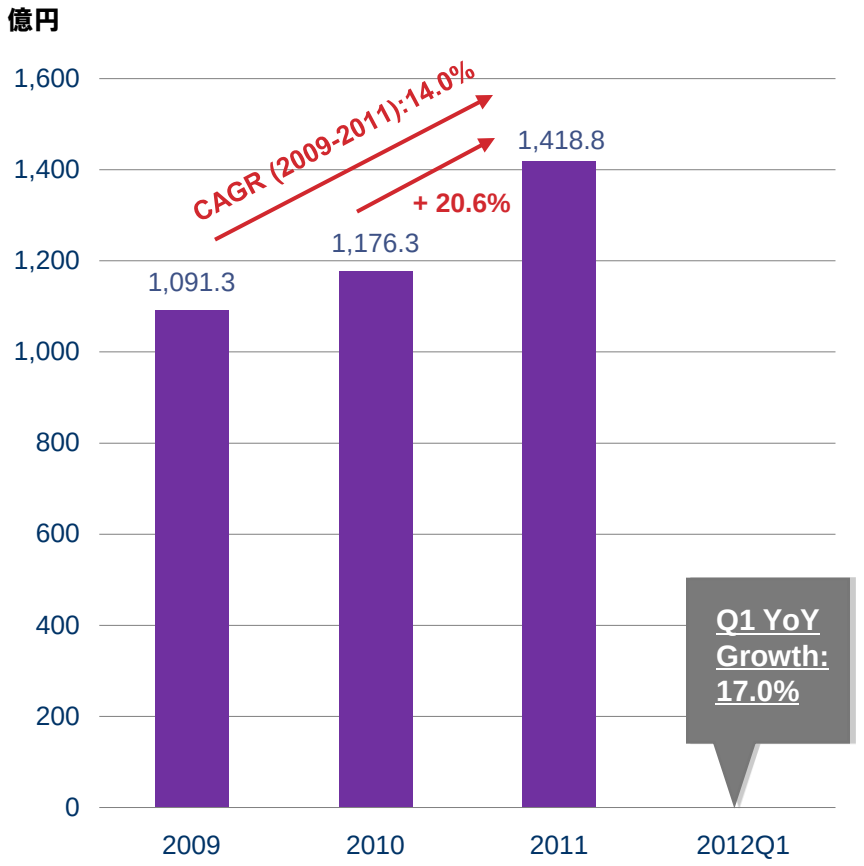
Aegisメディア売総のうち33%（2010年32%）が、グローバルクライアントで構成

注記：(1) Aegis「売総」は英国の会計基準表示IFRSのRevenueを採用

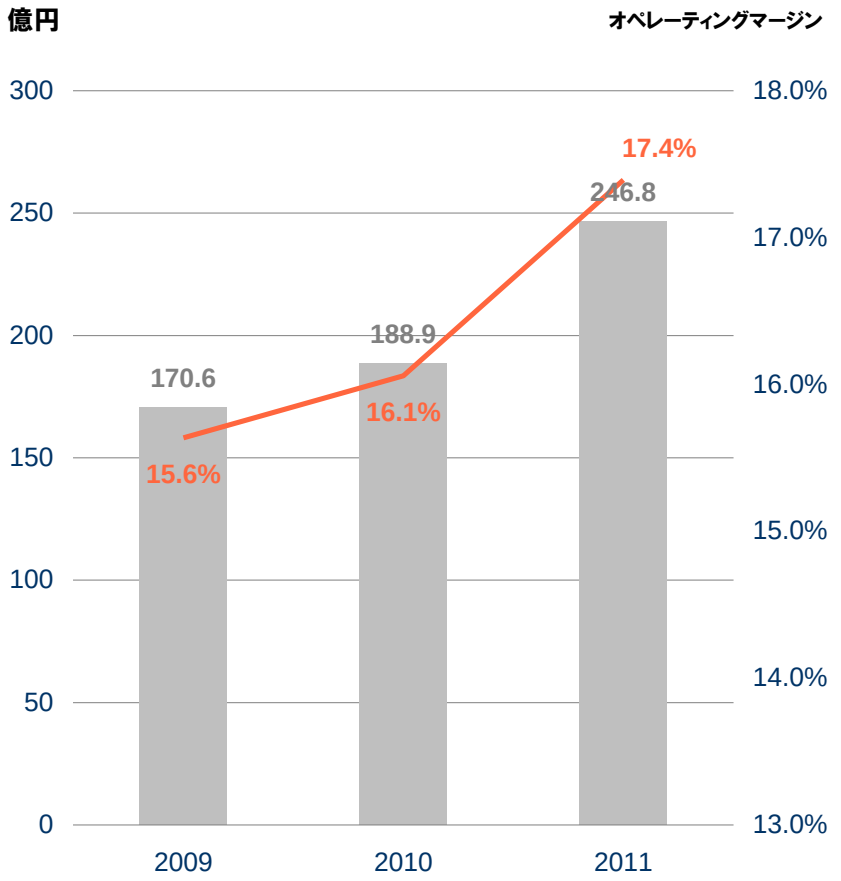
Aegisの業績推移[(1) (2)]

2011年に20.6%の売上総利益成長と、17.4%のオペレーティングマージンを達成

<売上総利益>[(3)]



<営業利益>[(4)]



注記:

(1) Aegis財務データはSynovate控除後存続企業ベース、年度ベース(12月期末)
(出所: Aegis 2011 Annual Report, Aegisウェブサイト, 社内資料)

(2) 1GBP=125円

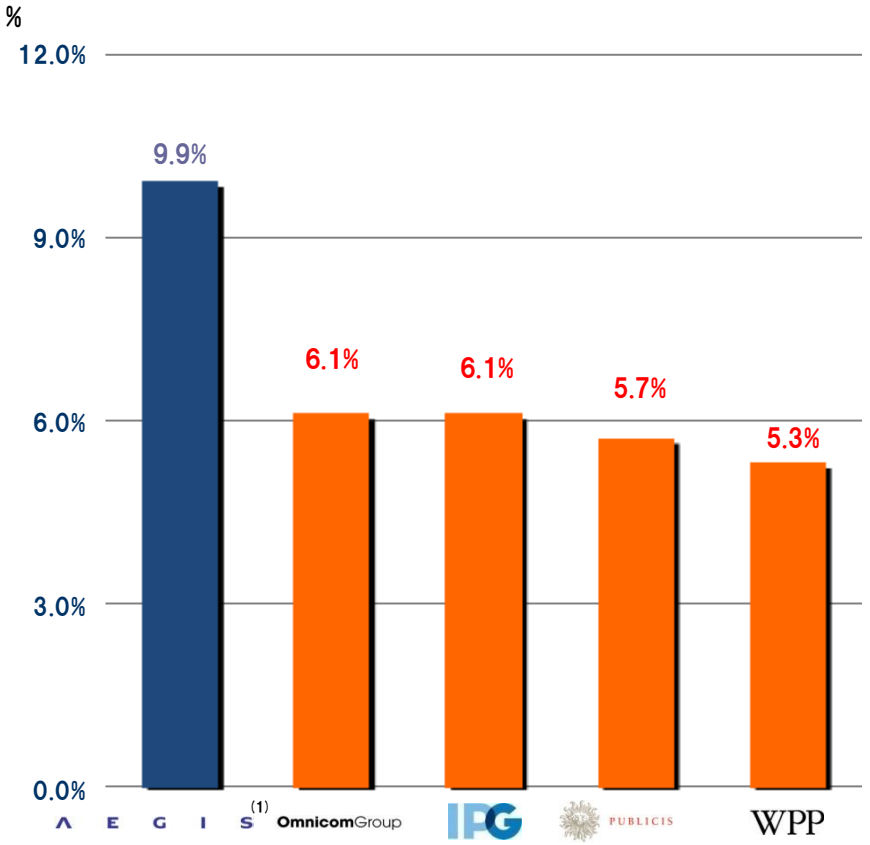
(3) Aegis「売上総利益」は英国の会計基準表示IFRSのRevenueを採用

(4) オペレーティングマージンは金利前税前一時項目控除前営業利益(underling operating profit)に基づく

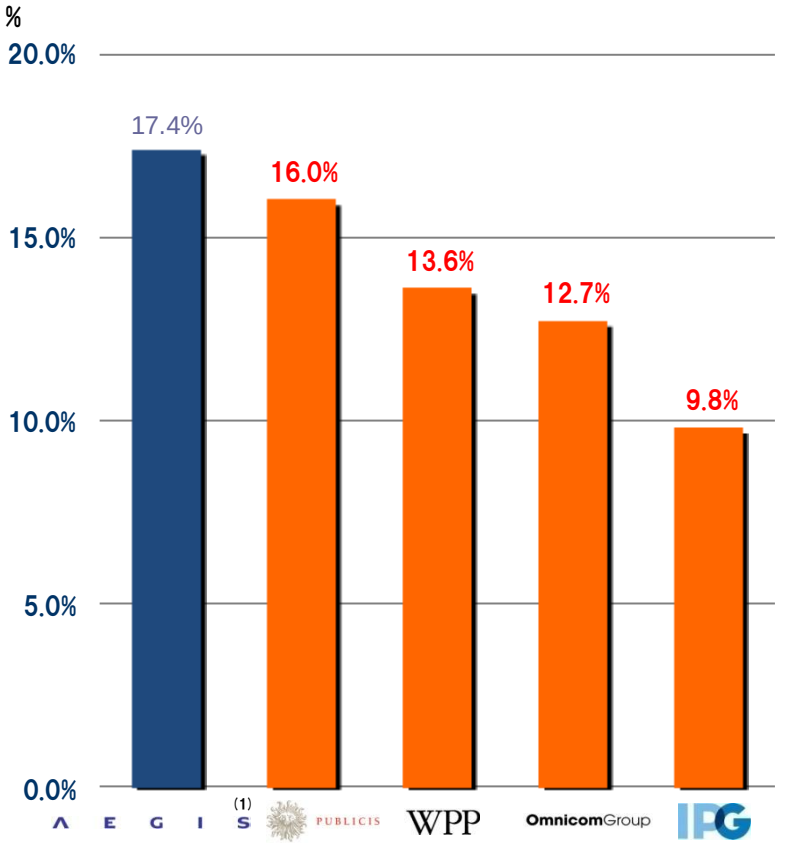
他のグローバルエージェンシーとの比較

最も高い内部成長率とオペレーティングマージンを達成

<FY2011 内部成長率>



<FY2011 オペレーティングマージン>



注記 (1) Aegis財務データはSynovate控除後存続企業ベース

出所: 各社アニュアルレポート